※令和４年度以降入学生用

学校番号	1005

令和５年度　芸術科（美術）

教科	美術	科目	生活造形	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

土を扱う授業です。長い爪だと細かい作業が必要な作品を作るときに邪魔になります。制作する作品は日常的に使用できるものです。実際に使用して、手作りのよさを味わいましょう。

２　学習の到達目標

・主体的に陶芸の基礎を学び、土の特性を理解するとともに陶芸の技術を身に着ける。
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったりすることができる。
・日々の生活に欠かせない器や小品の構造を考え、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生活の中に存在するものや、生涯を通して自然や伝統文化を愛好する心情を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	素材の特徴や様々な表現について理解し、陶芸の基本的な知識と技法が身についている。	可塑性のある粘土による陶芸作品は立体表現でもあるので、作りたい形とそれを実現させるための諸条件について考え、意図に応じて表現方法を創意工夫している。	陶芸を通じて、自然や物の美しさを感じ取り、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	素材を加工する基本的な技術を身に付ける	・オリジナルマグカップ ・写真立て	a:土の特性と加工方法を理解し、陶芸の基礎的な技法で作品を作ることができる。 b: 限られた条件の中で表現できるように構想を練り、自分の意図に応じて表現方法を創意工夫している。 c:陶芸作品の良さや美しさに関心を持ち、主体的な態度で創作活動や鑑賞活動を行っている。	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子
2学期	表現意図を持って表現する	・植木鉢	a:陶芸の基礎的な技法を理解し、多様な表現の幅を広げる、粘土の加工や道具の扱い方がわかる。 b: 限られた条件の中で表現できるように構想を練り、自分の意図に応じて表現方法を創意工夫している。 c:陶芸作品の良さや美しさに関心を持ち、主体的な態度で創作活動や鑑賞活動を行っている。	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子
		・高校展の鑑賞	c:高校生の作品のよさや美しさを感じ取り、その良さを味わっている。			鑑賞レポート
3学期	創意工夫を生かして表現する	・手鏡	a:日用品としての陶芸作品の用途やその役割を理解し、実用性とデザイン性を兼ね備えた作品を作ることができる。 b: 限られた条件の中で表現できるように構想を練り、自分の意図に応じて表現方法を創意工夫している。 c:陶芸作品の良さや美しさに関心を持ち、主体的な態度で創作活動や鑑賞活動を行っている。	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子	ワークシート アイディアスケッチ 作品 制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度